

大分大学
ボランティアサークル「コネクト」
～別府市立学校への支援活動～

大分大学 教育福祉科学部

2年 柏原 菜穂

1年 阿部 ひみこ

経済学部

1年 平山 舞

目次

- 1.コネクトって？
- 2.コネクト立ち上げの思い
- 3.活動内容
- 4.コネクトを通して得られた成果
- 5.今後のコネクトの課題と方向性

1.コネクトって？

主に別府の小学校に行って学習支援やイベント企画、イベント実施などを行う。

活動開始日

2013年11月

メンバー人数

女性8名、男性4名 計12名

メンバーの募集方法

- 別府出身の友人に声かけを行う。
- ビラ配りをして新入生などに声かけを行う。
- 中川先生に授業時に紹介してもらおう。



2.コネクト立ち上げの思い

- ニュースや新聞などで小さな子どもたちが金銭問題、家庭環境などの様々な問題で悩んでいることを知り、少しでも子どもたちの力になればと思い、立ち上げた。
- 大学生という時間に余裕のあるときに、お世話になった地元に恩返しができるくらいなと思った
- 社会に出る前に、コネクトというサークルを立ち上げることで小さな組織づくりに挑戦してみようと思った。

3.活動内容について

～朝日小学校放課後児童クラブ～

※幼稚園生から小学校5年生（およそ60名）

1. 学習支援

2. レクリエーション企画

① チャレラン

② ドッジビー



① ↓



② ↑



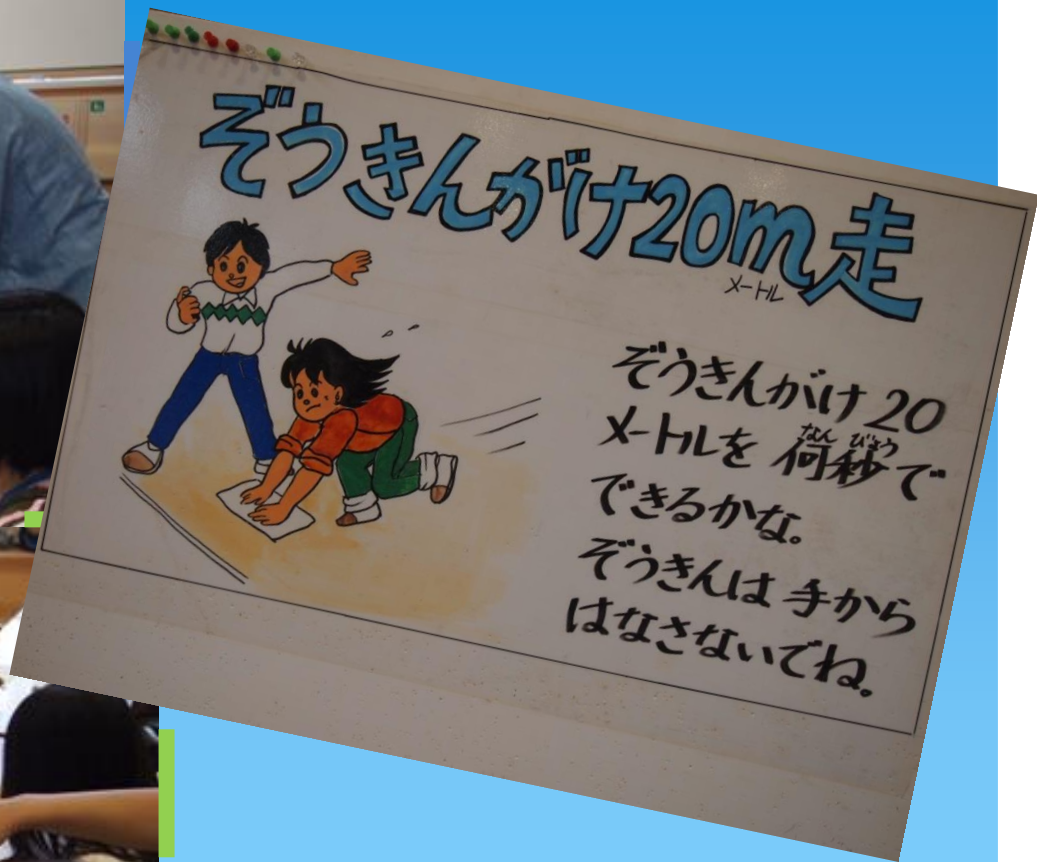
3.活動内容について

①チャレラン



・「時間内に箸で何個の豆を隣のお皿に移すことができるか」「どれだけ高く空き缶を積み上げることができるか」「ぞうきんかけレース」などをして子ども達は各コーナーを周り、最高記録を出そうと競っていた。

・1位の得点分かるランキング表を体育館に貼っていて、子ども達はその得点を目指して取り組んでいた。



3.活動内容について

②ドッジビー

- 学年は関係なしに5～8人で輪になってやわらかいfrisビーを投げる練習をした。その際、大学生は手助けが必要そうな輪に入り、小学生と一緒に練習をした。
- 各学年に分かれ、白線の前に並んでもらい、そこからfrisビーの飛距離を競うゲームをした。



3.活動内容について

③演奏会

④夏祭り



← ③



↓ ④



3.活動内容について

③演奏会

・ピアノやギターの演奏経験のある学生が普段の学習支援の後の遊びの時間を利用して弾き語りやタイトル当てゲームをして最後に子ども達と合唱をした。

演奏会の目的

：自分達(小学生)のために頑張ってくれている人がいるんだという気持ちを持ってもらいたかった



3.活動内容について

④夏祭り



- 朝日小の学童保育で行われた夏祭りでは、コネク트가用意したブースは、射的と輪投げである。
- 射的と輪投げのどちらも、幼稚園・低学年、高学年の2つの枠組みで、撃つ位置と投げる位置を変えて決められた点数を超えた場合のみ、景品を渡した。

夏祭りの目的

：朝日小の学童保育の行事の一環なのですが学童内外の交流を深めるため

3.活動内容について

⑤読み聞かせ

⑥クリスマスカード作り

⑦算数ゲーム



← ⑦



↑ ⑥

3.活動内容について

⑤読み聞かせ

- ・幼児・小学1年生、小学2・3・4・5・6年生に対して、大学生がそれぞれに合った本を選んだ。
- ・幼児・1年生の人数が特に多く、すぐに騒ぎ始めるので、落ち着かせるのに苦労した。
- ・他の学年は、人数が比較的少なく、とても集中して朗読を聞いていた。

読み聞かせの目的

：最近の子どもたちは本離れが進んでいるため、読み聞かせを行うことで本に親しみや興味をもってもらえることができる。



3.活動内容について

⑥クリスマスカード作り



- クリスマスカードを誰に送りたいのか子ども達自らが考え、カードの中のツリーが飛び出すように工夫して作成した。
- シールを使ったりおりがみをちぎったりして、カラフルなカードを作成した。



3.活動内容について

⑦算数ゲーム

- 大きな模造紙に点をたくさん描いて4, 5人のグループで点をつないでいくつ三角形が描けるかを競った。

算数ゲームの目的

：算数に対する苦手意識をなくしてもらおうという目的



3.活動内容について

～別府市立石垣小学校～

1. 学習支援

- ①長期休業中の学習支援
- ②月2回の(水曜日放課後)の学習支援

2. 目的と内容

- ①長期休業中の生活時間作り
- ②最近では支援時間後半にゲーム式の算数を取り入れ、児童は2人1組になり楽しそうに、かつ一生懸命に問題を解いている。

石垣小学校 学習支援



3.活動内容について

～アウトリーチ事業への参加～

①別府市教育委員会の取り組み

②コネクトの関わり

- ・不登校に悩んでいる児童の自宅に大学生が訪問し、様々な児童の様子や家庭の問題の解決を試みている。

3.活動内容について ～まとめ～

- * 学習支援
- * 外遊び
- * 児童への心のケア



成果と課題について

4.コネクトの活動を通して 得られた成果<子ども>

- 朝日小では、先生方から子どもたちの気持ちの切り替えがスムーズにできるようになったとコメントをいただいた。



(例) 遊びの時間から勉強の時間へ移る時

- 不登校の児童は、以前より登校日数が増え、日常生活の時間の使い方も改善の方向に向かっているという。

4.コネクトの活動を通して 得られた成果

○学習面

- 授業でわからない問題を質問・整理できる・宿題を子どもたちのそばで見てもらえることができるため、安心して勉強ができる
- 十分な勉強時間の確保ができる



4.コネクの活動を通して 得られた成果

○心理面

- 学校の先生よりも年齢が近いので気軽に会話や質問ができる
- 遊びなどを通して異年齢交流をはかることができる
- それぞれのボランティア活動を通して子どもたちは、私たちとの心の交流を深めることができる。
- 学習支援をすることで、学校の授業での困りを減らす
- 土日の活動を入れることで子どもたちの学習支援と遊びの活動に十分な時間が確保できる

4.コネクの活動を通して 得られた成果<学生>



- 子どもに勉強を教える立場ということで、自分の行動や言動に責任感をもつようになった。
- 子どもが「できた」「わかった」などの声を聞くと、嬉しい気持ちになる。
- 生意気な子ども達に腹が立つこともあるが、やはりかわいいと感じる。
- 大学生活でのサークル活動の大切さが分かった。

5.課題と今後の方向性

＜課題＞

- 参加回数に個人差があるため、成果や学びを得る機会に個人差が生じる。
- 参加人数が少ないことから活動が中止されることがあった。

5.課題と今後の方向性

〈今後の方向性〉

- 目的のあるサークル活動にする
- 課題解決
- 中学生の活動にもつなげていけるように工夫する
- 大分市での小学校のボランティア活動も取り入れる

ご清聴ありがとうございました

